



WEST HALL エントランスでオープニングのリボンカット

## ベガスで何が 起こっていたか 気付いた**13**のポイント

NAB Show は、会場のラスベガスコンベンションセンター (LVCC) のデカさに驚き、ブースを勢力的に回ると足が音を上げる。2022 開催の会場から見えたポイントを伝える。全部を回れていないので、断片からの報告をお許し願いたい。(レポート・写真:吉井 勇・本誌編集部)

### 1 ベガスが発信する 2 つの新たなシンボル

LCVV の各展示ホールを移動する足となるのが地下トンネルの交通システム「VEGAS LOOP」だ。



ボーリングカンパニー (The Boring Company) が掘った地下トンネルの中を Tesla の EV カーが走る。ドライバーが TESLA 搭載の ADAS (先進運転支援システム) を使って運転し、WEST HALL、CENTRAL HALL、SOUTH HALL の間を数分で結ぶ。

もう一つは、2023年の完成に向けて工事が進む「MSG Sphere Las Vegas」だ。15万7,000台の超高指向性スピーカーと、1万5,000㎡の半円型超高画質LED、振動する床の巨大ドーム。最大2万人の観客を収容でき、外周も「宇宙から見える」ようにLEDでコーティングされる。工事は現在進行中。

### 2 NAB Show の展示コンセプトが変わる

CREATE、CONNECT、CAPITALIZE の3つの「C」と、INTELLIGENT CONTENT の



「3C + 1C」の4テーマ別に展示エリアを分けた。また、参加者が迅速にリーチできるようにピクトグラム表示もあって分かりやすい。

### 3 展示会場のポールポジションにグラスバレー

継続するコンベンションとなると、どこに出展するか、場所取りに意味がある。LVCCでは、CENTRAL HALLのメインゲートに面するブースがポールポジションで、CESではLG電子がド派手なLEDディスプレイのパフォーマンスを見せる。NABも以前はトランスミッタ大手のHarris社(現在は消滅)が機材を誇らしげに並べていたが、そこへグラスバレーが進出。「WE LOVE LIVE」を掲げ、クラウドベースのライブプロダクションのニーズに応えるGV AMPP (Agile Media Processing Platform) で「クラウド、IP」の方向を明示した。

### 4 インカメラVFXの説明から始めたソニー

「Live Your Vision」を掲げたソニーは、クリエイターを支えるイメージング商品群や、リモートや分散での映像制作とワークフローの効率化を支えるIP、クラウド技術を展示。

展示初日のプレス説明はデジタルシネマカメラ『VENICE』とCrystal LED Bシリーズを組み合わせたバーチャルプロダクションから始まった。放送機器メーカーとして、次をどう描こうとするのか。

### 5 パナソニックは日本で発表済みの「KAIROS クラウドサービス」を展示

2020年9月にデビューしたKAIROSは、日本国内で開始する「KAIROS クラウドサービス」をベース